

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	重度障害児紙おむつ交付事業	所管	保健福祉部 子ども支援課
			TEL 2998-9124

事業の目的 (何の為に 行うか)	在宅の重度障害児・者に対して紙おむつを給付することにより、福祉の向上と経済的負担の軽減を図る。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	対象者数	対象とした数	269	人
		実際に 利用した数	21	人

活動の内容	(何を したか)	身体障害者手帳1・2級所持、療育手帳マルA・A所持又は知的障害者更生相談所若しくは児童相談所で同等と判定された者で、常時失禁状態にある者に対して紙おむつの給付を行う。 ①対象児・者は、市に認定申請を行う。 ②認定された者は紙おむつ等の購入・貸与にかかった費用の領収書を添えて申請する。 ③市は、審査のうえ、費用の支給を行う。							
活動実績	項目名	対象児	21	項目名	延べ件数	207	項目名	平均支給月額	6333
			----- 単位 人			----- 単位 人			----- 単位 円

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,650	1,312	2,815	8.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利用率	利用者÷対象者	21	269	7.8
			----- 単位 円	----- 単位 円	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕			
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止			
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了			

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040500	TEL	2998-9124
事業コード	040520 重度障害児紙おむつ交付事業					
開始年度	平成 13 年度		一	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画			所沢市重度障害児・者紙おむつ等給付要綱			
	関連・類似事業	所沢市児童福祉法施行規則による補装具給付事業						
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	4節 障害者福祉	中柱	2 福祉施策の充実	小柱

③事業の内容	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 26 位		・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ			
	コード		コード	
	事業開始の背景	脳性麻痺等肢体不自由児・者には、身体障害者福祉法又は児童福祉法により紙おむつが支給されているが、それらの制度では障害の種類や発症年齢等に制限があるため、その対象とならない障害児・者からの要望により制度化を図った。		

④前年評価と改善点	目的(何のために行うか、具体的に)					
	在宅の重度障害児・者に対して紙おむつを給付することにより、福祉の向上と経済的負担の軽減を図る。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方		
	対象者数			認定者数		

対象数	単位	平成 18 年度		275	人	利用数	単位	平成 18 年度		18	人
		平成 19 年度		269	人			平成 19 年度		21	人

事業の具体的な内容及び実施方法

身体障害者手帳1・2級所持、療育手帳マルA・A所持又は知的障害者更生相談所若しくは児童相談所で同等と判定された者で、常時失禁状態にある者に対して紙おむつの給付を行う。

①対象児・者は、市に認定申請を行う。
②認定された者は紙おむつ等の購入・貸与にかかった費用の領収書を添えて申請する。
③市は、審査のうえ、費用の支給を行う。

⑤経費	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				

平成19年度中に改善した点

法の規定では支給対象とならない重度障害児・者に対して、給付することで福祉の向上と経済的負担の軽減を図る意味からも、事業を継続した。

⑥指	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		1,800	1,650	1,380
	決算 (見込み含む)		1,325	1,312	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費		0.16 人 1,472	0.16 人 1,503	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		2,797	2,815	
	財源内訳	一般財源	2,797	2,815	1,380
		国・県支出金			
		受益者負担金			

市民一人当たり(単位:円)	8.3	8.3
利用数一単位あたり(単位:円)	155,388.9	134,049.5

⑦一次評価	項目名	対象児	実績	単位	人	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	延べ件数	実績	人		18	21	21	
		平均支給月額	実績	円		193	207	252	
						6866	6333	6600	

⑧二次評価	成果分析	利用率	利用者÷対象者	円	目標値	18	21	21
				%	実績	275	269	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
				%	達成率	6.5	7.8	2

⑨個別計画における方向性	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	所沢市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	領収書の提出によって費用を支給するため、本人の費用負担から支給までにある程度の期間が必要となっている。速やかに支給を行うために事務の効率化や支給方法の改善について、具体的な方策を検討する。					

⑩環境基本計画	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	法改正の動向を見据えた適正な事務の徹底	全件	年度内
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())		
	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		

予算 現状どおり 増額 減額 終了

評価理由

児童福祉法の規定では支給対象とならない重度障害児・者に対して、紙おむつを給付する事業のため、福祉の向上と経済的負担の軽減を図る意味からも、事業を継続する必要がある。今後も事業の必要性が失われることはないが、対象者が急激に拡大する可能性も低いため現状を維持していくことが適当と考える。

評価日 平成20年6月6日 記入者職氏名 子ども支援課 黒澤潤子

⑪	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了
	二次評価を受けて	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	年度内優先順位… 位	非常に高い 高い やや低い 低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標 市長マニフェスト	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑫	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード		
	◎個別計画における方向性	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます		
		主要課題	1すべての子育て家庭への支援		
		施策の方向	5障害児施策の充実		